

がん研ボランティア 活動報告書 (2013)



がん研有明病院
CANCER INSTITUTE HOSPITAL

(ボランティア支援室)

平成 25 年度 ボランティア活動 年間報告書



いつも、がん研有明病院のボランティア活動にご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。平成 25 年度も皆さんの温かいお気持ちにより、多くのボランティア活動を実施して、がんと闘う患者さんにご家族に癒しの空間とお届けすることができました。活動のひとつひとつが患者さんやご家族の喜びや安らぎにつながり、院内を温かな雰囲気包んでいただいたと心より感謝しております。

がん研のボランティア活動は、ボランティアの皆さんの得意分野やアイデアを活かして様々な活動が行われております。活動内容は大きく3つの活動に分けられ、「コンサート」、「ボランティアわかばの活動」、「外部ボランティアの受け入れ」と、年間で 150 名を超える皆さんにお力を貸していただきました。

皆さんに実施していただいた活動の内容を共有して、今後もより信頼されるボランティア活動が実施できるように「平成 25 年度ボランティア活動年間報告書」をお届けいたします。来年 2015 年は、病院が有明に移転してちょうど 10 年、ボランティアも活動開始 10 周年の節目の年を迎えます。がんと闘う患者さんにご家族に不安や緊張を少しでも和らいでいただけるように、ボランティアの皆さんと職員が一緒になって、温かさや優しさを運んで参りたいと考えております。

そして、ボランティア活動を通じて、人と人との繋がりを大切に、心豊かに成長していけますように、今後ともどうかお力添えを宜しくお願いいたします。

2014 年 4 月

がん研有明病院 ボランティア支援室
ボランティアコーディネーター 柴田かおり

がん研有明病院 ボランティアの目指すもの



- ・入院、通院されている患者さんが院内で快適に過ごすことができるように支援します
- ・患者さんが安心して治療できる環境づくりの担い手となります
- ・患者さん、ご家族と病院や社会との間をつなぐ架け橋となります
- ・入院生活に季節の風をもたらしませ
- ・院内のサービスの向上と充実につながるよう陰ながらサポートします

がん研有明病院ボランティア運営委員会

がん研有明病院 ボランティアシンボルマーク



カニのハサミがボランティア (Volunteer) の V マークを象り、
2つのカニのハサミは手と手を取り合い助け合いを
イメージしたシンボルマーク

1. コンサート活動のご報告

コンサート活動では、ホスピタルコンサート、BGM タイム、緩和ケア病棟ミニコンサートの3種類のコンサートを開催して、音楽を通じて患者さんやご家族に穏やかな時間をお過ごしいただきました。演奏ボランティアには、プロとして活躍されているアーティストの方、またはプロ活動に準ずる活動をされている方をお願いして、素敵な演奏を院内に届けていただきました。

【ホスピタルコンサート】

- 開催日時：毎月第3木曜日（17:00～17:40）
- 場 所：1階ホスピタルストリート
- 開催回数：12回
- 対 象：患者さん、ご家族



月一回、ホスピタルストリートに200席の椅子を用意して、開催しているホスピタルコンサートは今年度も多くからのご推薦やご紹介いただき、日頃から各方面でご活躍の12組のアーティストの方にご出演いただきました。大変ありがたいことに、ホスピタルコンサートで演奏したいと沢山の申し出をいただき、出演していただくまでに一年以上お待ちいただいた方もいらっしゃいました。次々とコンサートへの出演のご希望が寄せられたため、ホームページ上での募集を見合わせたほどです。

コンサートは毎回盛況で、大勢の患者さんやご家族がホスピタルストリートまで聴きに来てくださいました。コンサートの開催に合わせてお見舞いに来られた方もおられ、患者さんと一緒にコンサートを楽しんでいるご様子に、こちらも気持ちが温かくなりました。入院患者さんはコンサート終了後には、お部屋でのお夕食タイムとなりますが、コンサートの余韻に浸りながら、美味しく食事を召し上がっていただけたのではないかと思います。また、出演されたアーティストの皆さんから『ホスピタルコンサートに出演して患者さんのお力になるつもりが、逆に会患者さんやご家族、そしてお手伝いいただいたボランティアの皆さんからパワーをいただきました。心の支えとなったコンサートです。』というお声も寄せられました。ボランティアをする側、受ける側の両方にとって感動的なコンサートとなっています。

コンサート開催にあたっては、患者さんやご家族に安心してコンサートを楽しんでいただけるように、看護部や検査部、事務部門など各部署から多数の職員も参加して、一緒になってコンサートを盛り上げました。また、協力企業さんによるご支援もあり、コンサート会場を素敵なお花で囲んでいただいたほか、患者さんから出演されたアーティストの方へプレゼントしている花束もご提供いただきました。

コンサートのサポートをしていただいたボランティアわかばや職員からのアイディアで、出演されたアーティストの皆さんへ感謝の気持ちとして、お渡しした当日のDVD



松本蘭ヴァイオリンコンサート

[2013年4月18日開催]

出演：松本 蘭さま（ヴァイオリン）・近藤亜紀さま（ピアノ）



HOSPITAL CONCERT
松本蘭ヴァイオリンコンサート

ヴァイオリン 松本 蘭
ピアノ 近藤 亜紀

日付：2013年4月18日(木)
時間：17:00~17:40
会場：1階 ホスピタルストリート
出演：松本 蘭（ヴァイオリン）
近藤 亜紀（ピアノ）
曲目：アヴェ・マリア、チャルダッシュほか



ヴァイオリニストとしてのご活躍はもちろんのこと、ミス日本グランプリにて「ミス着物」の受賞経験もおありの松本さんが奏でるヴァイオリンの演奏は、力強くもしっとりとした心地よい演奏でした。近藤さんのピアノとも息のぴったり合った演奏に患者さん、ご家族はもちろん、病院職員までもが癒されました。

大城梨花・杏花コンサート～フルートとピアノでつづる音楽物語～

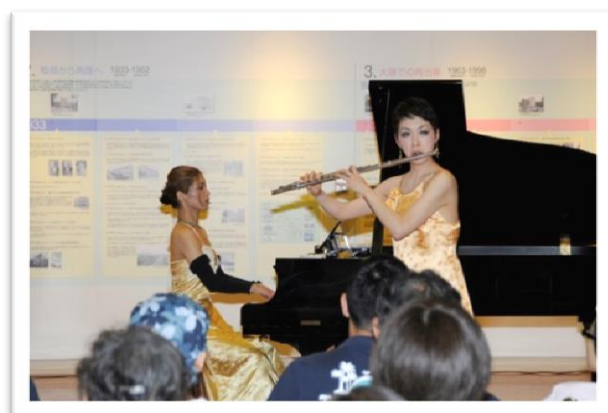
[2013年5月16日開催]

出演：大城梨花さま（フルート）・大城杏花さま（ピアノ）



HOSPITAL CONCERT
大城梨花・杏花コンサート
～フルートとピアノでつづる音楽物語～

日付：2013年5月16日(木)
時間：17:00~17:40
会場：1階 ホスピタルストリート
出演：大城 梨花（フルート）・大城 杏花（ピアノ）
曲目：野ばら・音楽物語「鶴の恩返し」ほか
主催：がん研究会 有明病院 ボランティア運営委員会



姉妹で音楽家としてご活躍の大城梨花さんと杏花さんによる、フルートとピアノのコンサートは、タイトルの「音楽物語」の通り、ストーリーのあるコンサートでした。がんと闘う患者さんに少しでも力になっていただければと、お二人の温かい思いが詰まった素敵なひとときとなりました。

高山由美子ソング SHOW [2013年6月20日開催]

出演：高山由美子さま（ヴォーカル）



入院患者さんの世代が喜ぶ昭和の名曲を届けていただきました。大ヒットした懐かしの曲と一緒に口ずさむ方もいらっしゃいました。昭和の歌だけでなく、「世界に一つだけの花」では高山さんによる振付の指導もあり、会場の皆さんも歌いながら、ちょこっと体も動かして楽しいコンサートでした。

バンドューラの響き [2013年7月18日開催]

出演：カテリーナさま（バンドューラ）



ウクライナ出身のバンドゥーラ奏者カテリーナさんをお迎えしました。“バンドゥーラ”の演奏を聴くのは初めてという方が多く、会場のお席もあつという間に満席となるほど大盛況でした。バンドゥーラの音色と透き通るようなカテリーナさんの歌声は、病院という空間と忘れさせてくれるようでした。

マリンバコンサート～木の音色に包まれて～

[2013年8月22日開催]

出演：ラディ☆マリッシュさま（マリンバデュオ）、船橋洋史さま（パーカッション）



HOSPITAL CONCERT

～ 木の音色に包まれて ～

日付：2013年8月22日(木)
時間：17:00～17:40
会場：1階 ホスピタルストリート
出演：ラディ☆マリッシュ with パーカッション
曲目：コーヒールンバ、夜桜お七、100%勇気ほか
主催：がん研究会 有明病院 ボランティア運営委員会



真夏のホスピタルコンサートにご出演くださったのは、元気いっぱいのマリンバデュオのラディ☆マリッシュさんのお二人と、パーカッションの船橋洋史さんです。マリンバの軽やかな音色はとても心地よく、楽しいトークあり、笑いあり、沢山のPowerをいただきました。

Happy Fantastic With Dry Flowers！！

[2013年9月19日開催]

出演：ドライフラワーズさま（ヴォーカル）

石川康彦さま（ベース）、尾関 健さま（ピアノ）



HOSPITAL CONCERT

Happy Fantastic
With Dry Flowers!!

日付：2013年9月19日(木)
時間：17:00～17:40
会場：1階 ホスピタルストリート
出演：Dry Flowers(ドライフラワーズ)
共演：石川 康彦(ベース)、尾関 健(ピアノ)
曲目：上を向いて歩こう、ラストダンスは私に、少年時代 ほか
主催：がん研究会 有明病院 ボランティア運営委員会



鮮やかなピンクの素敵なお衣裳で登場してくださった女性ヴォーカルグループ、ドライフラワーズの皆さんによるコンサートは、様々なジャンルから馴染みのある曲を7曲歌っていただきました。足でリズムと取られたり、一緒に歌を口ずさむ方もいらったり、あっという間の40分間でした。

門田泰子コンサート～秋を歌う～ [2013年10月17日開催]

出演：門田泰子さま（ソプラノ）、吉田由紀子さま（ピアノ）

日付：2013年10月17日(木)
時間：17：00～17：40
会場：1階 ホスピタルストリート
出演：門田 泰子(ソプラノ)
吉田 由紀子(ピアノ)
曲目：秋の空、赤とんぼ、
小さい秋みつけた、落葉松 他
主催：がん研究会 有明病院
ボランティア運営委員会



東京藝術大学ご出身のお二方、ソプラノ歌手の門田泰子さんとピアニストの吉田由紀子さんをお迎えして開催いたしました。秋に因んだ親しみのある曲を沢山届けてくださいました。実は門田さんは病院長の門田守人先生の奥様で、がんの早期発見・早期治療への啓蒙活動もしてくださいました。

Piano Duo Souple コンサート [2013年11月21日開催]

出演：Piano Duo Souple 丸山ひろ子さま、丸山葉子さま（ピアノ）

日時：2013年11月21日(木) 17:00～17:40
会場：1階 ホスピタルストリート
出演：丸山 ひろ子、丸山 葉子
曲目：サンニサーンス/「動物の謝肉祭」より
ショパン/ワルツ第1番「華麗なる大円舞曲」作品18ほか
主催：がん研究会 有明病院 ボランティア運営委員会



日頃から演奏ボランティアとしてもピアノ演奏を届けてくださっている、Piano Duo Soupleのお二人によるピアノ連弾のコンサートでした。二人で一台のピアノをどのように演奏するのかを丁寧に説明くださり、連弾の面白さを感じました。息もぴったり、さすがは親子ならではの演奏でした。

鈴木重子&ウォン・ウィンツァンクリスマスコンサート
[2013年12月19日開催]

出演：鈴木重子さま（ヴォーカル）、ウォン・ウィンツァンさま（ピアノ）



鈴木重子さんとウォン・ウィンツァンさんによるクリスマスコンサート。一年中で最も賑やかなクリスマスシーズンを病院で過ごされている患者さんのために、沢山のクリスマスソングを届けてくださいました。サンタ帽をかぶって、職員やボランティアメンバーも一緒になって盛り上がりました。

わたぼうしコンサート

[2014年1月16日開催]

出演：春風ひとみさま、青木美保さま、石瀬みつほさま、石田佳名子さま、木村晶子さま、
柏木ナオミさま、日比野啓一さま、藤山すみれさま、森 加織さま
(協力) 前田清美さま、河合篤子さま、境田桃子さま



2014年のホスピタルコンサートの幕開けを飾ってくださったのは、今年100周年を迎えた宝塚歌劇団出身の春風ひとみさんを中心に、ミュージカル界でご活躍の俳優さんが出演してくださいました。ショー形式の素敵なコンサートでした。歌やダンスにジャグリングもあり、患者さんやご家族を楽しませてくださいました。

見上げてごらん夜の星を
[2014年2月20日開催]

出演：大島花子さま（ヴォーカル）、笹子重治さま（ギター）

Hospital Concert

見上げてごらん夜の星を



【出演】
大島花子（ヴォーカル）
笹子重治（ギター）



【演奏予定】
坂本 九さんの名曲
「見上げてごらん夜の星を」
「上を向いて歩こう」 など

【日時】 2/20(木)17:00~17:40
【場所】 1階ホスピタルストリート
【主催】 がん研有明病院ボランティア運営委員会




故・坂本 九さんの長女、大島花子さんによるコンサート、さりげない笹子さんのギター演奏と花子さんの優しい歌声や手話を交えてのコンサートに、会場にいらした患者さんやご家族だけでなく、病院職員やボランティアさんの心が一つになるような温かなものでした。感動の涙と笑顔のあふれる素晴らしい時間でした。

三原敦子ピアノコンサート～音色の情景～
[2014年3月20日開催]

出演：三原敦子さま（ピアノ）

Hospital Concert

三原 敦子
ピアノコンサート



音色の情景
春の情景豊かな曲の世界を
お贈りします

【日時】 3/20(木)17:00~17:40
【場所】 1階ホスピタルストリート
【主催】 がん研有明病院ボランティア運営委員会




親しみのある曲を沢山ご用意いただき、春の訪れにぴったりの温かいピアノの音色を院内に届けてくださいました。アンコールでは三原さんの演奏に合わせて、皆さんによる『ふるさと』の大合唱となり患者さん、ご家族もとても穏やかなお顔をされて、それぞれの思いを込めて、歌われていました。

【BGM タイム】

- 開催日時：毎週火・金曜日（14:00～14:30）
- 場 所：1 階ホスピタルストリート
- 開催回数：57 回
- 対 象：患者さん、ご家族



週 2 回開催している BGM タイムは、生演奏を気軽にお楽しみいただけるように、演奏ボランティアの 11 名のメンバーがローテーションを組んで活動していただきました。患者さんに少しでも気分転換していただければと、季節に因んだ曲や馴染みのある曲を演奏していただき、自然と手拍子が起こったり、足でリズムを取ったりする患者さんもいらっしゃいました。

この BGM タイムに合わせて外来の予約を入れてくださったという患者さんもおられ、多い時には 50 名近い方が 1 階のグランドピアノの周りにお越しくされました。

コンビニエンスストアの改修工事のため、2 月下旬から一か月間ほど、BGM タイムが休止となり、「演奏がなくて淋しい」というお声をいただいたほど、患者さんやご家族にとっても BGM タイムでの演奏に親しみを感じていただく時間となっています。

【緩和ケア病棟ミニコンサート】

- 開催日時：毎週火・金曜日（14:45～15:15）
- 場 所：緩和ケア病棟 12 階東デイルーム
- 開催回数：59 回
- 対 象：緩和ケア病棟の患者さん、ご家族



BGM タイム終了後、引き続き、演奏ボランティアのメンバーが緩和ケア病棟でもミニコンサートを開催していただきました。ボランティアわかばのメンバーが、週 2 回開催しているお茶会に合わせて、患者さんやご家族にお茶とお菓子を召し上がっていただきながら、音楽をお楽しみいただき、患者さんと演奏ボランティアの距離も近く、毎回温かな雰囲気にも包まれています。

緩和ケア病棟の患者さんは、体調によってはデイルームまで出てくることできないこともあります。お部屋の扉を開けて演奏に耳を傾けてくださっています。また、演奏ボランティアのメンバーも、BGM タイムと緩和ケア病棟のミニコンサートでは演奏曲をわけたり、患者さんやご家族からのリクエストやアンコールにも応えたり、オリジナルのプログラムを用意したりと工夫を凝らしています。

1/24（金）にはライアー奏者の第一人者、池末みゆきさんによるスペシャルミニコンサートを開催しました。大変珍しい楽器ライアーの演奏に患者さんやご家族も演奏に聴き入っていらっしゃいました。



2. ボランティアわかばの活動のご報告

新体制でボランティアさんをお迎えして3年目となった今年度は、ボランティア募集方法を拡げて、江東区や中央区の社会福祉協議会、ボランティアセンターに協力を依頼し、ボランティアだよりに募集案内を掲載していただいた他、ボランティアサイトでの募集、有明地区にある二つの大学にも学生さんのボランティア参加にご協力をお願いしました。また、病院の近くにお住まいのボランティアさんにもお力をお借りして、近隣マンションにも募集ポスターを掲示した効果があり、江東区にお住まいの方のご登録が増え、15名の新しいメンバーをお迎えして新しい風を運んでいただきました。

今年度は病院の増改築に伴い、ボランティアわかばの活動拠点となっているボランティア室の引越があり、12月下旬にアクアコート棟5階へ移動しました。病院棟から離れて少し遠くなったのでは…という意見もありましたが、有明に移転してから3部屋目となったボランティア室は、今までより広いスペースをいただき、見晴らしも良く、メンバーの皆さんにも気持ちよく活動できると好評です。

登録者データ

- ①登録者数：76名（男性：9名、女性：67名）※15名の新人ボランティアが登録
- ②当院での治療歴：当院で治療を受けた経験がない方が半数以上（無：43名、有：33名）
- ③登録者年代：平均年齢57.3歳

年代別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	3名	4名	11名	23名	24名	10名	1名
%	4%	5%	14%	30%	32%	13%	1%

- ④住所別データ：自宅から病院まで片道の所要時間10～60分前後という方が約75%
※活動を継続するには、自宅からの距離、通いやすさもポイントとなっています

都道府県	人数
東京都	63名
埼玉県	5名
神奈川県	4名
千葉県	3名
茨城県	1名



(都内の内訳)

区	人数	区	人数	区・市	人数
江東区	23名	文京区	2名	中央区	1名
世田谷区	7名	板橋区	2名	目黒区	1名
品川区	6名	足立区	1名	杉並区	1名
大田区	4名	江戸川区	1名	調布市	1名
港区	3名	葛飾区	1名	三鷹市	1名
豊島区	3名	墨田区	1名	武蔵野市	1名
渋谷区	2名	荒川区	1名		

⑤活動時間数：連休や天候によって参加されるメンバーの皆さんの人数や時間数に差がありました。
 様々な事情で参加できない方も多く、活動率も新人ボランティアさんが登録した
 5~6月は活動率が一番高く、二度の大雪に見まわれた2月は低くなっています。

※参加日数：50日以上（4名）、40日以上（9名）、30日以上（10名） 最高85日

※参加時間数：300時間以上（2名）、200時間以上（6名） 最高427時間

月	活動 実日数	活動 延人数	活動総時間数	平均活動 時間数	実活動者数	1日平均 活動者数	活動率(%)
4月	21	115	456:12	3:58	48	5.48	78.69
5月	21	201	807:10	4:00	63	9.57	84.00
6月	20	189	709:56	3:45	63	9.45	84.00
7月	22	200	768:55	3:50	59	9.09	79.73
8月	15	104	421:28	4:03	51	6.93	68.92
9月	19	141	576:31	4:05	52	7.42	70.27
10月	21	169	660:34	3:54	51	8.05	68.92
11月	20	153	622:54	4:04	55	7.65	76.39
12月	14	126	581:40	4:36	55	9.00	76.39
1月	16	112	447:56	3:59	49	7.00	68.06
2月	18	120	494:51	4:07	48	6.67	66.67
3月	19	115	468:01	4:04	50	6.05	69.44
計/平均	266	1,745	7016:08	4:02	53.7	7.14	74.29

新人ボランティア説明会・研修会



4月11日（木）にボランティア説明会を開催し、参加を希望された22名の方にボランティアの活動趣旨や活動内容を説明しました。説明会後には個別面談を行い、病院が求めていることとボランティアを希望された方が実現したいと思う内容を擦りあわせ、活動の趣旨にご賛同いただいた15名が新たにメンバーに加わりました。



5月10日（金）に新人ボランティアのオリエンテーションと研修会を行い、病院ボランティアとして身につけていただきたい内容の講義を受けていただきました。研修会には先輩ボランティアさんも復習を兼ねて参加しました。新人メンバーの皆さんは約3ヶ月間、30時間のトレーニングを受けて、正式に登録となりました。

図書（月～金曜日：午前・午後）



一番多くのメンバーが携わっている図書活動は、すべて寄贈本で運営されています。年間で640名の方から6,801冊もの本をご寄贈いただきました。午前は5階から12階の病棟デイルームにある本棚、午後は地下から2階の外来スペースにある図書ワゴンの整理整頓、返却本の消毒作業を行いました。薬剤部からの要請で1階の薬局前にも図書ワゴンを設置し、薬の待ち時間にも本を読んでいただきました。

ソーイング（水・金曜日：午前・午後）



患者さんの不快感を少しでも解消できるように、ボランティア室にあるミシンで各種のカバー類を多数作成しました。ほつれ直しなどの簡単な縫製作業に留まらず、看護師や看護助手から寄せられる特注品の対応が昨年度よりも50件以上増えました。型紙をおこしてミシンができるメンバーが少なく、特注品は2名の限られたメンバーで対応していますが、年間353点の布製品を提供しました。

（年間で払い出した布製品の内容）

尿パック カバー	ドレーン ポシェット	アイスノン カバー	ドレナージ カバー	クッション カバー	ほつれ 直し	個別オーダー 特注品
98点	41点	20点	5点	10点	13点	166点

折り紙を楽しむ会（毎週木曜日：午後）



8階デイルームで開催している『折り紙を楽しむ会』は、年間47回開催し、270名の患者さんやご家族にご参加いただきました。毎週、3名のメンバーが交代で季節にあった作品を考え、試作を繰り返し、材料を準備して患者さんのお越しをお待ちしています。患者さんは、折り紙の作品づくりはもちろん、メンバーとのおしゃべりも楽しんでくださっています。この他にも、がん情報コーナーや緩和ケア病棟のデイルームに様々な作品を展示して、季節の風を運びました。

（折り紙作品）



外来案内 (月～金曜日：午前・午後)



外来医事課のサポートとして3年目を迎えた外来案内の活動には、15名のメンバーが参加しています。外来患者さんやご家族、面会の方へのご案内や自動再来受付機、精算機前での操作方法の説明のほか、呼び出しPHSの消毒作業も実施しています。2時間も立ちっぱなしですが、笑顔で患者さんをお迎えしてくれるメンバーは、病院の顔とも言える欠かせない活動になってきました。

お茶会 (火・金曜日：午後)



緩和ケア病棟で週2回開催しているお茶会には、10名のメンバーが参加して、演奏ボランティアによるミニコンサートと合わせて開催しています。年間で86回、参加された患者さんも延べ800名を超え、午後のひとときとお茶と音楽で楽しんでいただきました。深刻な状態の患者さんが多い病棟での活動となるため、看護師からの指示を受け、食品衛生面でも栄養管理部が素敵なカップで美味しいコーヒー、紅茶、日本茶を用意してくれるなど、ボランティアと病院職員の連携が大切な活動となっています。

(お茶会開催記録)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
月間開催数	7	7	7	9	6	8	9	9	6	6	6	6	86	
曜日	火	4	4	4	5	3	4	5	4	3	3	3	4	46
	金	3	3	3	4	3	4	4	5	3	3	3	2	40
わかば参加人数	17	14	17	21	18	23	24	22	18	19	16	18	227	
ミニコンサート開催数	6	4	6	6	5	5	5	5	5	5	2	5	59	
患者さん人数	78	50	65	75	66	70	88	81	75	44	58	65	815	
ご家族・面会者人数	90	69	95	101	80	136	118	134	83	69	68	84	1127	



室内作業（月～金曜日：午前・午後）



ボランティア室内では、寄贈本の受付や本のカバーかけ、ソーイングの布製品の払出や入院患者さんへのCD文庫の貸出、尿瓶キャップづくり、来訪者や問い合わせの電話対応も行っています。パソコンが得意な方は活動記録を集計したり、寄贈品をご提供くださった方への御礼状発送など、各活動が円滑に行えるように事務的な作業をするメンバーが活躍しています。また、活動で着用しているエプロンのアイロンかけやメンバーが気持ちよく活動できるように室内の整理整頓や掃除をするなど、縁の下の力持ちとして活動してくれるメンバーもいます。各グループ活動を終わってから室内作業をしてくださる方や、午後からの活動に参加する前に早めにボランティア室に来て作業をしてくださる方もいて、とてもありがたいです。



<CD文庫の貸出>

CD文庫は、小説や詩集をプロの声優が吹き込んだ「聴いて楽しむCD」です。視覚に障害がある方、目の疲れや細かい字が見えない患者さんに好評で、年間55件の貸出がありました。入院中に100本すべて聴かれた患者さんもいらっしゃいました。



<尿瓶キャップ作成>

短い時間で誰でも簡単にできる手作業の尿瓶キャップづくりは、年間で1,455個も病棟へ払い出ししました。

材料は厚紙（BOXティッシュの空箱）や端切れの生地で、廃材を有効に使っています。



<ペットボトルキャップの回収>

施設課が「世界の子どもたちにワクチンを提供する活動」に協力していることから、ボランティア室でも回収BOXを置いています。

キャップ1kg=400個、800個で一人分のワクチンが購入可能です。400個が焼却されると3.15kgの二酸化炭素が発生し、エコにもつながります！年間で8.5kg分のキャップ集めて協力しました。



<古切手の回収>

職員やボランティアのメンバーから古切手を有効活用できないか、という提案で、小児がんなどの難病のお子さんの夢を叶えるお手伝いをしている財団法人『MAKE A WISH JAPAN』に寄贈しました。

コンサートサポート



ホスピタルコンサートの開催時には、会場の座席準備やプログラム配布、患者さんやご家族のお座席への誘導など、ボランティア運営委員会や各部署からのサポートの職員と一緒に、コンサートサポートを行いました。

この他、BGM タイム、緩和ケア病棟ミニコンサートでも同時開催となるお茶会のメンバーがコンサートのサポートをしました。

イベント

患者さんやご家族に治療の合間でも季節を感じて、ホッとする時間を持っていただければと、季節ごとに様々なイベントを実施しました。普段、曜日や活動内容によって分かれて活動していますが、イベント開催時には、メンバー総出で活動しています。

◆端午の節句（4/22～5/7）



五月人形 2 つと兜を 1 つ、院内 3 カ所に展示しました。以前、設置されていた院内保育園から寄贈の五月人形を 1 階ホスピタルストリートに、ボランティアのメンバー寄贈のオルゴール付の五月人形は 2 階外来 20 番向井のエスカレーター横に、患者さんから寄贈された兜は 12 階緩和ケア病棟デイルームにそれぞれ飾り付けました。

◆七夕笹の設置（6/28～7/8）



今年も帝都典禮株式会社様のお力添えでホスピタルストリートに大きな七夕の笹を、12 階緩和ケア病棟デイルームにもミニサイズの笹を設置しました。毎年多くの短冊が結びつけられることから、笹を追加してくださり、立派な七夕コーナーとなりました。折り紙のメンバーが素敵な笹飾りをつくり、新人ボランティアのメンバーが中心となって 2,000 枚以上の短冊を作成しました。

◆七夕短冊奉納、お焚き上げ（8/7）



七夕の笹に結びつけられた短冊は 2,113 枚もの数になりました。患者さんやご家族だけではなく、理事長を始め、病院幹部の先生方も短冊に願いごとを書いてくださり、それを読まれた患者さんやご家族がとても喜んでくださっていました。願いが沢山詰まった短冊は笹から大切に外して、今回初めてボランティアのメンバーが門前仲町にある富岡八幡宮にお焚き上げを依頼してきました。

◆クリスマスカードづくり (9月~12月)



毎年恒例のクリスマスカードは、約一年前からボランティアさんがデザインや作り方を考えて準備してくれました。クリスマスの時期に入院されている患者さんにお渡しするクリスマスカードは、一枚一枚手作りで合計 800 枚、残暑の厳しい 9 月からメンバー総出で作成します。担当の先生や看護師がメッセージを添えてクリスマスに患者さんの手元へ届けられました。

◆クリスマスツリー展示 (12/1~12/26)



例年、外来フロアに 3 か所、大きなクリスマスツリーを飾り付けていますが、ボランティア室の引越しもあり、今年度は 1 階と 12 階緩和ケア病棟デイルームの 2 か所のみでした。平安祭典様のご協力で、1 階ホスピタルストリートに大きな生のモミの木でクリスマスツリーを飾り付けていただきました。新しいオーナメントも準備していただき、沢山の患者さんがご覧になっていました。

◆ボランティア SHOP (12/7)



今回で 4 回目の開催となり、過去最高の出品数となりました。早い時期から開催の問い合わせがあり、品物や材料を提供してくれる患者さんや職員が増えました。毎年大盛況のボランティア SHOP は、メンバーにも大きな達成感を感じるイベントとなりました。

*売上： **340,200 円** *来客数：289 名
*販売数：1,005 点 *出品数：1,542 点 (過去最高数)

◆サンタクロース訪問イベント (12/19)



毎年、協力企業さんによって行われていた『サンタプロジェクト』を引き継ぎ、男性メンバーがサンタクロースになって入院患者さんお一人ずつにクリスマスプレゼントをお届けしました。病室を訪問すると、驚かれた様子の患者さんやご家族も、あっという間に笑顔となり、日頃の活動とは違った感動を味わえるイベントでした。プレゼントは入院中に便利なクリスマス柄の BOX ティッシュと門田病院長からのクリスマスカードでした。

◆桃の節句 (2/21~3/4)



毎年恒例となった、ひな人形を 1 階ホスピタルストリートと 12 階緩和ケア病棟デイルームに展示しました。ホスピタルストリートに飾り付けた七段飾りは、35 年も前のものですが、寄贈して下さった患者さんが大切に保管されていたようで、とても立派で綺麗な顔だと皆さんが足を止めてご覧いただきました。

3. 外部ボランティア受け入れのご報告

【スヴェンソン様カットボランティア】

スヴェンソン池袋サロンの美容師の皆さんが、美容室の定休日を利用して訪問してくださいました。午前中は病棟では処置や入退院の対応に追われるため、ボランティアわかばのメンバーと一緒に図書活動に参加していただき、日頃、なかなか作業ができない、大きな本棚の清掃や8階デイルームにあるマンガ本をすべて消毒していただきました。午後からは、美容師さんの腕のみせどころ、各病棟の洗髪室で入院患者さんの髪をカット&シャンプー、セットもしていただきました。利用された患者さんからも「気持ち良かった!」と好評でした。

カットボランティア利用者数：7月23日(火) 19名、1月21日(火) 22名



【文教大学様国際観光学科ボランティア体験】

9月13日(金)に文教大学国際観光学科の川名教授のゼミ生が、ホスピタリティ精神を学ぶために来院され、病院見学やボランティア活動を体験しました。病院の概要説明やボランティアの活動内容の説明を受けたあと、実際に活動しているボランティアわかばのメンバーと共に図書活動や緩和ケア病棟でのお茶会に参加していただきました。また、医療者として患者さんへどのように接しているかを放射線治療部長の小口先生の診察室で実際に体験していただきました。参加された学生さんは、『ボランティアさんはもちろん、病院自体がホスピタリティに特化していて素晴らしい病院でした。将来、がん研で働いてみたい』とまで言っていたほほでした。



4. 交流会・懇親会のご報告

より良い活動を実施していくために、日頃の活動だけでなく、メンバー同志の横の繋がりや職員との親睦を深められないかと考え、交流会や親睦会のほか、今年度はレクリエーションも兼ねて江東区観光や暑気払いも開催しました。

◆新人ボランティア交流会 (5/10)



新人ボランティアをお迎えしたオリエンテーション、研修会終了後に開催した交流会には、新しいメンバーを温かくお迎えしようと活動を終えた先輩ボランティアやボランティア運営委員の職員も参加しました。新人メンバーは自己紹介や活動への抱負を、ベテランメンバーからは活動に参加する心得や活動を続けていくポイントなどとお伝えしました。

◆江東区観光ツアー (8/7)



ボランティアわかばのメンバーで、江東区観光ガイドボランティアとしても活躍されている方がいらっしゃることから、病院がある江東区のことをより詳しく知ろうと、門前仲町周辺の名所を巡りました。七夕短冊のお焚き上げ奉納も兼ねてのツアーで、深川不動尊や富岡八幡宮では、患者さんやボランティアの皆さんの健康祈願をして参りました。

◆暑気払い (8/7)



太田常務理事より、院内で活躍してくれているボランティアさんと交流する機会をつくりたいとお話があり、七夕短冊の奉納と江東区観光ツアーの後に、深川めしで有名な「門前茶屋」にて暑気払いを行いました。ボランティア支援室の櫛山室長やボランティア運営委員長の宇津木先生も参加して、ボランティアさんと美味しいお酒とお食事をいただきました。

◆クリスマス懇親会 (12/19)



病院からの感謝の気持ちをお返ししたいと、ボランティアとしてお力を貸してくださっているコンサート、わかば、協力企業の皆さんをお招きして、クリスマス懇親会を開催いたしました。理事長や病院長、看護部長から御礼の言葉をお伝えし、年間に実施したボランティア活動を報告しました。参加された方から病院が温かくボランティアを受け入れることが感じられ、とても嬉しかった、励みになったというお声が届きました。

5. 活動費、募金・寄付のご報告

① ボランティア活動費（年間：700,000 円）

学術研究費より活動費 700,000 円が支給され、活動別で下記の通りの支出となりました。

ボランティア運営委員会 平成25年度活動費報告					
(単位：円)					
区分	活動別	予算	支出	差額	備考
コンサート	ホスピタルコンサート BGM・ミニコンサート	70,000	78,103	-8,103	演奏者CD、写真用紙、POP材料、お茶等
外部団体受け入れ	カットボランティア 大学生ボランティア体験	10,000	4,896	5,104	お茶等
わかば	図書	30,000	5,888	24,112	カバーかけ用備品、欠巻本、テプラテープ等
	ソーイング	70,000	69,574	426	生地、糸、マジックテープ等
	折り紙会	10,000	7,106	2,894	折り紙材料
	各種イベント	255,000	222,785	32,215	
	(内訳)七夕	5,000	5,000	0	七夕短冊材料、お焚き上げ初穂料
	(内訳) Xmasカード	30,000	21,274	8,726	Xmasカード材料
	(内訳) SHOP	70,000	50,708	19,292	ボランティアSHOP材料
外来医事課サポート	外来案内	5,000	3,576	1,424	掃除用具
緩和治療病棟サポート	お茶会	100,000	82,725	17,275	コーヒー・紅茶・お茶・コンディメント類(栄養管理部発注、支払いはボランティア活動費より)、個包装のお菓子を購入
ボランティア活動全般	雑費	150,000	225,165	-75,165	消耗品(御礼状用ハガキ代・文房具類・ボランティア室用お茶等)
合計		¥700,000	¥699,818	182	返金

※図書用フィルムカバーは、高額のため(1本あたり小サイズ=8,000円、大サイズ=1万円)、ボランティアSHOPの売上金(病院への寄付金)より支出。
 ※図書や外来案内、お茶会等で使用している消毒用のエタノール、ガーゼ、エタコト、検査用手袋の他、ボランティア室で使用している、ペーパータオルやティッシュ、手指用消毒アルコールは、購買施設課からの支給のため、上記支出には含まない。

尚、雑費の中に含まれるものには、皆様のご協力で購入不要なものもあります。下記の『Wish List』の品物を募集しています。皆様のご自宅に眠っている品物はありますか？ご提供いただける品物がありましたら、ぜひお持ちください！！

この他にも、ボランティア活動で利用できるものがありましたら、ご相談の上、対応させていただきます。引き続き、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

～Wish List～

- | | | | |
|---------|--------------------------------|-----------|---------------|
| 【ソーイング】 | * 木綿の生地 | * キルティング | * 刺繍糸 |
| 【文具類】 | * 色画用紙 | * 書き損じはがき | * サインペン |
| | * 厚紙 (BOX ティッシュの空き箱ほどの厚さのボール紙) | | |
| 【日用品】 | * 食器用洗剤 | * スポンジ | * 石鹸 (ハンドソープ) |
| | * ビニール袋 | * 紙袋 | * ポケットティッシュ |
| 【食品】 | * コーヒー | * 紅茶 | * お茶 |

②ブックオフへの図書買取り金額（冊数：2,614 冊、金額：94,882 円）

多数の寄贈本をいただくようになり、病棟や外来、ボランティア室ストック用本棚のキャパシティーをオーバーしたため、委員会での了解を得て寄贈いただいた本をブックオフへ買取りを依頼しています。

買取り金は全額「ボランティアわかば募金」に募金し、金額がまとまった時点で一旦、がん研へ寄付していますが、ボランティア活動で有効に使えるようにして、図書カバーかけで使用しているフィルムルックスを購入しています。

<参考>フィルムルックス（大サイズ：約¥10,000、小サイズ約¥8,000）

2013 年購入分（大サイズ：5 本、小サイズ：10 本）

No	日付	箱数	書籍		コミック		CD、DVD		その他		合計		値段がつかなかった数
			冊数	金額	冊数	金額	枚数	金額	冊数	金額	冊数	金額	
1	4月2日	3箱	117	8,198	76	2,063					193	10,261	21
2	4月19日	3箱	87	3,938	4	105					91	4,043	52
3	4月30日	1箱	16	119	25	1,423					41	1,542	37
4	5月27日	3箱	84	3,766	74	1,362					158	5,128	47
5	6月12日	2箱	73	4,008	37	1,279					110	5,287	40
6	7月1日	2箱	74	2,455	14	119					88	2,574	28
7	7月11日	2箱	52	2,500	8	55					60	2,555	25
8	7月24日	2箱	42	2,279	40	2,113					82	4,392	28
9	8月6日	1箱	29	829							29	829	17
10	8月27日	3箱	90	4,156	27	1,405					117	5,561	20
11	9月12日	2箱	82	3,141	22	664					104	3,805	27
12	9月20日	2箱	60	1,734	28	1,350					88	3,084	31
13	10月8日	2箱	34	3,505	49	1,899					83	5,404	32
14	10月22日	2箱	51	2,938	43	1,344					94	4,282	24
15	11月7日	4箱	256	5,452	45	1,019					301	6,471	34
16	11月13日	2箱	79	3,174	16	344					95	3,518	18
17	11月20日	1箱	32	820	11	511					43	1,331	12
18	12月2日	1箱	37	1,665	9	169					46	1,834	4
19	12月12日	2箱	55	2,136	21	469					76	2,605	13
20	12月24日	2箱	192	5,920	13	54					205	5,974	15
21	1月22日	3箱	117	3,642	29	486					146	4,128	55
22	2月3日	2箱	37	1,182	39	1,018					76	2,200	5
23	2月28日	1箱	24	634	16	311					40	945	14
24	3月10日	2箱	50	831	39	1,522					89	2,353	37
25	3月24日	2箱	154	4,615	5	161					159	4,776	24
合計											2,614	94,882	660

③ボランティアわかば募金（募金額：83,574 円）

2014 年 3 月末時点でボランティア室内にてお預かりしている募金額です。年間で 68 件もの募金件数となりました。ブックオフ買取金やボランティア SHOP 終了後に在庫をボランティア室で継続して販売した売上金、その他、ボランティアさんからの募金の総額です。一定金額を超えたら、寄付金として募金課に寄付し、ボランティア活動で有効に使わせていただきます。

④寄付金

ボランティア SHOP の売上や図書を買取り、その他ボランティアの皆さんからの募金より、今年度は2回、がん研へ寄付することができました。寄付金は8月の暑気払い、12月のクリスマス懇親会で贈呈式を行いました。これまでの寄付金は以下の通りです。ご協力、ありがとうございました。

ボランティアわかば寄付金報告					
No	年	月日	金額	寄附先	備考
1	2009	7月6日	¥100,000	新有明特別募金	ボランティア室わかば募金より
2	2009	12月21日	¥134,500	手術室募金	ボランティアバザー(職員&ボランティア対象)
3	2010	10月16日	¥100,000	がん研究医療推進募金	ボランティア室わかば募金より(わかば活動開始5周年記念)
4	2010	12月16日	¥320,700	がん研究医療推進募金	ボランティアチャリティーSHOP(初の手作りSHOP)
5	2011	10月18日	¥100,000	高度医療基金整備募金	ボランティア室わかば募金より(ブックオフ買取り他)
6	2011	12月22日	¥500,000	がん研究医療推進募金	ボランティアSHOP
7	2012	12月14日	¥500,000	ボランティア寄付金	ボランティアSHOP、ボランティア室わかば募金より(ブックオフ買取り他)
8	2013	8月8日	¥100,000	ボランティア寄付金	ボランティア室わかば募金より(ブックオフ買取り他)
9	2013	12月20日	¥500,000	ボランティア寄付金	ボランティアSHOP、ボランティア室わかば募金より(ブックオフ買取り他)
合計			¥2,355,200		

6. ボランティア活動に寄せられた感謝のメッセージ

患者さんやご家族から、沢山の感謝のメッセージが寄せられました。

心のこもったお手紙やメッセージ、私たちの活動が多くの患者さんやご家族の心に響いています。

♣入院中の良い思い出♣

2ヶ月半もの間、入院生活を送り、先日、無事退院することができました。夢のようでございます。その間、度々コンサートを聴かせていただき、入院生活を忘れる思いでした。ホスピタルコンサートでは、主人に花束贈呈をさせていただいたうえに、お写真までいただき、入院中の良い思い出として心に残るコンサートとなりました。皆さまに支えられ、がんと共に生きながら主人と共に、前向きに生きて参ります。ありがとうございました。(患者さんの奥さまより)

♣命を大切に生きていきたい♣

母が12階東病棟に入院しました。食事が一切取れず、歩くことができずに、痛々しい姿ではありましたが、ボランティアの方にクリスマスコンサートに連れて行っていただいたり、カードをいただいたり、とても喜んでおりました。本当にありがとうございました。本が大好きな母のものですが、少しでもお役に立てただけならと思い、お送りいたします。母の分まで命を大切に生きていきたい、そして、また何らかの形で、ボランティアの皆さまにご恩返しができるかと思っております。(患者さんのお嬢さまより)



**一年間、ご協力いただき、本当にありがとうございました。
どうか今後もお協力を宜しくお願いいたします。**